

第5期 第3回鎌倉市農業振興協議会議事録（概要）

1 日時

令和4年（2022年）12月20日（火） 午後3時から午後4時5分まで

2 場所

鎌倉市役所4階 402会議室

3 出席委員

10名（渡邊委員、平井委員、福田委員、細谷委員、落合委員、米津委員、
福岡委員、杉山委員（代理）、河野委員、杉原委員）

4 欠席委員

3名（安齊委員、宇野委員、桑鶴委員）

5 事務局

4名（農水課担当課長 太田 朋彦、課長補佐兼担当係長 飯田 拓也、
事務職員 古川 礼奈・星 陽介）

6 議題

- （1）鎌倉市農業振興ビジョン（改定案）について 資料1
- （2）今後のスケジュールについて 別紙

7 添付資料

- （1）議事録（案）
- （2）配付資料
 - ア 次第
 - イ 委員名簿
 - ウ 【資料1表紙】鎌倉市農業振興ビジョン（表紙・目次）
 - エ 【資料1本文】鎌倉市農業振興ビジョン（本文）（改訂案）について
 - オ 【別紙】今後のスケジュールについて
 - カ 座席表

8 議事録

会長 本日は、お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。
定刻となりましたので、第5期第3回鎌倉市農業振興協議会を開催いたします。
まず、事務局から報告があるようですので、事務局よろしく願いいたします。

事務局 本日は、安齊副会長、宇野委員から所要のため欠席のご連絡をいただいております。

また、委員所属の人事異動に伴い、(株)イトーヨーカ堂大船店店長 鮎田委員にかわって、同じく(株)イトーヨーカ堂大船店店長 桑鶴委員に委嘱替えを行いました。本日は所用のため、欠席のご連絡をいただいております。

そして、神奈川県農業技術センター普及指導部野菜課 主任技師 杉山委員にかわって、同じく神奈川県農業技術センター普及指導部野菜課副技師 江口委員に委嘱替えを行いました。こちらも本日は所用のため、杉山主任技師に代理出席していただいております。

委員総数13名のうち、出席者10名となり、委員の過半数が出席していることから、鎌倉市農業振興協議会設置要綱第7条に基づき、会議が成立していることを確認します。

また、事前に送付させて頂いた会議資料につきまして、ご確認をお願いします。

お送りしたものは、

- ・開催通知
- ・次第
- ・**資料1** 鎌倉市農業振興ビジョン（改定案）
- ・第2回農業振興協議会議事録（未定稿）

以上です。

また、本日机上配付したものは、

- ・**別紙** 今後のスケジュールについて
- ・第2回農業振興協議会議事録（案） 以上です。

資料に不足はございませんか。

また、会議開催に当たり、会議録作成のために録音をさせていただきたいと思いますので、ご承知置き願います。

会議録につきましては、委員の皆様にご確認をいただいた上で、市のホ

ホームページに掲載する予定となっております。

報告は以上です。

会長 それでは、議事に入る前に前回の協議内容について、確認させていただきます。事務局から説明をお願いいたします。

事務局 前回、10月28日に開催した第2回協議会では、「現状と課題及び今後の取組について」「施策の方向について」「鎌倉市農業振興ビジョン（改定素案）について」の3つのテーマについて、ご協議いただきました。

特に、「現状と課題及び今後の取組について」では、「農業者への補助制度」「新規就農の相談件数や相談内容」「遊休農地の解消後の活用」「有機農業に対する支援制度について」「農道整備事業の目標値の達成状況」「6次産業化の検討」「鎌倉ブランドの高付加価値化」等について、各委員の立場からご意見をいただきました。

なお、第2回協議会で資料1としていた「現状と課題及び今後の取組について」ですが、表題がないとのご指摘がありましたので、ホームページに掲載する際は表題を追記します。

また、資料1の内容について、「6次産業化の検討」の課題としている「農家に6次産業化を進めるだけの能力が不足している」という記載内容の見直しと、今後の取組欄に「高付加価値のための」を追記し、「高付加価値のための6次産業化の支援を行っていく。」という記載に見直すという2点については、次期（第6期）の協議会の課題として検討させていただきます。

会長 続いて、前回の議事録についての説明を事務局からお願いします。

事務局 前回の協議会の議事録について、各委員の皆様からのご意見を反映したものを今回、机の上に配付させていただきました。

再度内容をご確認頂きまして、問題が無いようでしたら、委員名を伏せたかたちでホームページへ掲載を行う予定です。

ご確認頂きまして、内容に何かご意見はございますか。

—意見なし—

問題がないようですので、1月上旬頃までに、ホームページへの掲載を行います。

会長 それでは、改めて議題に入ります。
『次第2 鎌倉市農業振興ビジョン（改定案）について資料1』、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 一事務局による説明―

会長 それでは、各委員のお立場から、事務局から説明のありました、
『次第2 鎌倉市農業振興ビジョン（改定案）について資料1』という内容でございますので、先ずは、JA さがみ鎌倉ブランド会議農産物部会 ●●委員にご意見等をいただければと思います。

●●委員 鎌倉ブランドの件は、継続して取り組んでいただきたいと思います。
鎌倉ブランド堆肥の配布については、1月から順次開始する予定で準備を進めており、現在は配布方法について検討しているところです。

会長 鎌倉市野菜勉強部会の会長、●●委員におかれてはいかがでしょうか。

●●委員 現在、農道を整備していますが、過去に整備した農道に穴が開いてしまっていて、車が通るとその穴に溜まっている水と砂利が跳ねて農地に入ってきてしまうので困っています。
また、最近は泥棒が多く、東北のように一晩で大量に持っていかれるということはないですが、レジ袋を持って散歩をしながら、少しずつ持っていかれてしまっています。農協にも協力してもらい、泥棒に対して、注意喚起の看板を立ててほしいと思います。

会長 鎌倉市青壮年部の代表、●●委員におかれてはいかがでしょうか。

●●委員 意見は特にありません。

会長 鎌倉市農業委員会委員の●●委員におかれてはいかがでしょうか。

●●委員 先ほど●●委員がおっしゃったように、私も野菜を抜かれてしまうことがあり、自分たちのやり方と違うのですぐに分かります。対策として、網をかけましたが、散歩中に軽い気持ちでやってしまうのでしょうか。
また、鎌倉ブランドの堆肥を早速注文しました。1袋15kgで470円ですが、鎌倉市から270円の補助を出してくださり、200円で購入できたのでとても

助かりました。堆肥と植木剪定材の割合はどの程度になるのでしょうか。

事務局 JAに成分を確認してもらい、これまで使っていた堆肥と成分はほとんど変わらないということでした。

●●委員 来年早速使用してみたいと思います。
恐らく牛糞かと思いますが、堆肥の中に塊があり、あまり粉になっていないことがあるので、背負って撒く際に詰まってしまう可能性があるかと思います。

会長 さがみ農協鎌倉営農経済センター長の●●委員におかれてはいかがでしょうか。

●●委員 ブランド堆肥については、市の協力もあり、今回は葉山牛の牛糞を用いることになりました。うまく活用して、高付加価値化に努めていきたいと思います。堆肥の中身の成分等については、これまで使用していたものとほとんど変わりません。堆肥の袋に成分表が記載されていますのでご確認ください。牛糞の塊等については、今後、葉山の牧場にお願いできればと思います。
また、19 ページのア『『鎌倉やさい』のブランド力の強化と高付加価値化の推進』で、さがみ農業協同組合鎌倉地区運営委員会が事務局を担うと記載されていますが、10 月から鎌倉地区運営委員会が営農経済センターに統合され、現在は鎌倉営農経済センターが事務局を担っているため、鎌倉営農経済センターに修正をお願いします。
今後も引き続き、鎌倉やさいの PR 等行っていきたいと思います。

会長 神奈川県農業技術センター普及指導部の●●委員におかれてはいかがでしょうか。

●●委員 20 ページのウ「有機農業推進の可能性検討」の2行目「しかし、有機農業は～」の文章の後に「土作りが重要であり、また」と追記をお願いします。
神奈川県農業技術センター普及指導部の普及指導計画の重点課題として、有機農業の取り組みと土作りに対して力を入れているためです。有機農業には土作りがとても重要ですので、よろしくお願いします。

事務局 追記します。

会長 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター農政部農地課長の●●委員におかれてはいかがでしょうか。

●●委員 ビジョンという大きな計画に位置付ける内容としては、概ね網羅されてるかと考えております。今後、ビジョンを基に具体的な施策を進めるに当たり、県農地課で所管している「農業生産基盤の整備」という項目がございまして、先ほど●●委員からもお話がありました農道の不具合がある場合については、市町村推進交付金の農とみどりの整備事業の活用等もぜひ検討していただければと考えています。

また、6ページのエ「農業従事者数と平均年齢」の2行目に「農業就業人口は増加」とありますが、恐らく農業従事者数が平成27年の171人から令和2年の187人に増加しているという捉え方をされて、記載されていると思います。

しかし、平成27年は農業従事者数ではなく農業就業人口であり、比較ができず、増加している訳ではないので、平成27年は就業人口として171人、令和2年は従事者数として187人と、事実関係を記載すればよいと思います。

事務局 ご指摘のとおり、事実として記載するかたちで検討したいと思います。

会長 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター農政部地域農政推進課長の●●委員におかれてはいかがでしょうか。

●●委員 農林業センサスの数値について、修正していただきありがとうございます。

●●委員からご指摘がありました農業従事者数については、2020年は187人で間違いありませんので、2015年の数値と比較するのが一番よいかと思います。

ビジョンの内容については特に意見はありませんが、県の事業としてはかながわ農業サポーターとかながわホームファーマーの2つの事業が掲載されています。

現在当地区では、ホームファーマーの新規募集をやめており、令和5年に最後の方が卒業した後はサポーターになるご意向があります。

サポーター事業については、今後も鎌倉地区含む管内で空き農地があれば、引き続き継続できますが、ホームファーマー事業については、令和5年度で終了する見込みです。

会長 東京農業大学国際食料情報学部教授の●●委員におかれてはいかがでしょうか。

●●委員 ビジョンの内容については、表記上の細かなことをいくつかお伝えできればと思います。

まず、1ページの10行目に「～農業生産基盤整備などの課題を解消し」と記載されていますが、解消というのは「なかったことにする・リセットする」という意味合いかと思いますので、解消ではなくて「解決」と言い換えたほうがよいかと思います。ただ、これらの問題を解決することは非常に難しいかと思いますので、「課題の解決を目指し」と言い換えたほうがいいのかもかもしれません。

11行目の「～更なる発展を目指す」部分は、「目指す」という言い回しが連続していますので、「都市農業の更なる発展を推進する」と言い換えたほうがよいかと思います。

5ページの6行目の「～特徴です。(表1-1・表1-2)」の記載について、句点の位置を括弧の後に付けて、「～特徴です(表1-1・表1-2)」と記載したほうが、この場合ですと表も含んだ説明文章になりますので、細かなことで恐縮ですが、全体的に句点の位置の修正をされたほうがよいと思われます。

8ページの〔表3〕以降の表について、出典が明示されていないため、出典図表と図表のタイトルの追記と表記方法も全体的に統一してください。

13ページの〔写真1〕について、タイトルはありますが本文と切り離されていて何の活動状況か分からないので、分かるように記載をお願いします。

17ページの「6 今後取り組むべき施策の内容」で、施策の方向2では「6次産業化の検討」とあり、施策の方向3では「有機農業推進の可能性検討」とありますが、有機農業推進については可能性自体から検討するということですか。6次産業化についてはスタートから一歩手前あるいはもうスタートしたという意味合いで、一方の有機農業推進についてはまだまだスタートラインの段階ではないという理解でよろしいでしょうか。

19ページのウ「農業を通じた地域貢献」の7行目で「～市民農園の適正な管理運営」とありますが、市民農園の記述についてはここで初めて出てまいります。唐突に出てきますので、市民農園がどのくらいあるか追記するか、あるいは9ページに市民農園の現状について記載する等した方が分かりやすいと思います。

最後に、17ページのア「6 農業基盤整備の推進」で、18ページの3行目に「6路線の整備が完了」と記載されていますが、6路線とは何か分かるよ

うに記載したほうがよいと思いました。

事務局

ご指摘の件について、修正の検討を行います。有機農業推進については、導入に当たっての課題は多いので、国・県の動向を受けて慎重に対応する必要がありますと捉えており、ご指摘の意味合いで捉えていただいて構わないと考えています。市民農園や農業基盤整備の記載については、前置きを置くなどして、分かりやすい表現に変えたいと思います。

会長

私からの質問と意見を述べさせていただきます。

先ほどもお話がありましたが、6 ページのエ「農業従事者数と平均年齢」の内容について、名称等が変わっているのので、修正をお願いします。

12 ページの4 行目で「就農希望の者」と記載がありますが、5 行目では「就農希望者」となっていますので、どちらかに統一をお願いします。

14 ページの「(3) 農業従事者の高齢化と担い手確保」について、3 行目と7 行目では「農業就業人口」と記載がありますが、記載されている数値は「農業従事者数」ではなく、「農業就業人口」で間違いないでしょうか。

事務局

間違いありません。

会長

いつ「農業従事者数」に変更されたのでしょうか。

●●委員

「農業従事者数」は以前から「専業農家・兼業農家数」と並列表記されていました。

会長

了解いたしました。

次に、20 ページのウ「有機農業推進の可能性検討」6 行目で「(～環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律)が施行(令和4 年(2022 年)7 月)され脱炭素の取組に関する支援が強化されます。」と記載されていますが、すでに法律は施行されているため、「～強化されています」と修正をお願いします。

また、用語の統一の話となりますが、20 ページのア「農地の保全・有効活用」の3 行目の「～推進していきます」と5 行目の「～目指します」、イ「環境保全型農業の推進」の4 行目の「～推進していきます」について、「～します」又は「～していきます」どちらかに統一をお願いします。

本日、委員の皆様からいただいたご意見の整理とビジョン改訂案の策定に係る事務手続きについて事務局の方で、行っていただき、修正後のビジョンの改訂案については会長一任とさせていただきたいと考えておりますがいかが

がでしょうか。

―異議なし―

それでは、会長一任とさせていただきますのでよろしくお願いします。

また、第2回の協議会で加工品の話がありました。やはり食品衛生法が大きく変わったことで、今、漬物を作るのは大変な状況のようですね。何とかうまく解決していけるとよいのですが。食材を無駄にすることなく、余ったものや規格外のものを加工していくことは大事ななことかと思います。

●●委員 国の方でももう少し基準を緩やかにしていただかないと、基準をクリアするのがとても難しいです。今の直売所では絶対に基準をクリアできないのが現状で、直売所で野菜を袋詰めすることも、カット野菜を販売することもできません。また、加工するための施設を作って、外と中に水道がないといけません。普通の農家ではなかなか基準をクリアすることは難しいです。

以前、鎌倉の農家では、カラフルな大根等を袋詰めしていて、かなり好評だったのですが、それもできません。

基準がもう少し緩やかになれば、会長がおっしゃったように、B品やC品が効率よく売れるようになるのですがね。

会長 県の方でも何かお考えでしょうか。

●●委員 食品衛生法のことですので、農政の方は直接タッチできないです。ただ、三浦市では保健所の担当者が、加工している農家を回って、基準をクリアする方法を提案するなどの対応は行っているようです。

相手が法律ですので難しいかとは思いますが、できる限りでやっていくしかないかと思います。

●●委員 もう少し、農家目線になっていただいてもいいのではないかという気はします。

会長 ほかに何かご意見はありますか。

―意見なし―

それでは、以上で、『次第2 鎌倉市農業振興ビジョン（改定案）について』

を終わります。事務局から何かありましたら発言をお願いいたします。

事務局

それでは最後に、委員の皆さんからいただいた修正内容について、確認をさせていただきたいと思います。

まず、1 ページの 10 行目「解消し」を「解決を目指し」に修正、11 行目「発展を目指す」を「発展を推進する」に修正します。

次に、6 ページのエ「農業従事者数と平均年齢」では比較する項目が異なるということです、こちらは現在も調査項目として残っており、過去と比較可能な「農業従事者数」を記載するかたちで修正し、あわせて平均年齢について上昇しているということではないので、記載内容については修正します。

次に、全体を通して、表のタイトルがないものについては追記し、8 ページの表 3 については出典をつけます。

次に、12 ページでは「就農希望の者」と「就農希望者」という記載があるので、統一します。

次に、13 ページの写真 1 のタイトルについて、活動状況が分からないため、分かるようにタイトルを検討します。

次に、14 ページの（３）「農業従事者の高齢化と担い手確保」では、「農業従事者」と「農業就業人口」と記載があるので、適切な表現に修正します。

次に、17 ページの「6 次産業化の検討」と「有機農業推進の可能性検討」については、●●委員がおっしゃった通り、「有機農業推進の可能性検討」は、まずは有機農業の導入で課題があり、導入の可否をまず検討していきたいということで、「6 次産業化の検討」と記載の違いがございます。

次に、18 ページの 3 行目の「6 路線の整備」については、説明を補足するなどして分かるように記載したいと思います。

次に、19 ページの「鎌倉地区運営委員会」は「鎌倉営農経済センター」に修正します。

次に、同じく 19 ページの「市民農園の適正な管理運営」について、唐突ではないかというご意見がありましたので、市民農園の説明を追記するなどしてこちらも記載方法を検討します。

次に、20 ページについては、全体を通して「～していきます」又は「～します」で統一します。

最後に、同じく 20 ページのウ「有機農業推進の可能性検討」の 2 行目の「しかし、有機農業は」の後に、「土作りが重要であり、また」と追記します。

また、8 行目の「～支援が強化されます」は「～支援が強化されています」に修正します。

修正点は以上でよろしいでしょうか。

ー異議なしー

では、このとおり修正を行います。他にもご意見がありましたらまた改めてご連絡をよろしくお願いいたします。

続いて、本日机上配付させていただきました、『別紙』 今後のスケジュールについて説明させていただきます。

(別紙に基づいて説明)

また、次回の協議会については、令和5年7月下旬を予定しておりますが、日程につきましては、年度が変わって4月になりましたらまた改めて調整し、ご連絡させていただきます。

会長 他に何かご意見はありますでしょうか。

●●委員 先ほど、最近野菜泥棒が多いという話がありましたが、組織的に持つてくというよりは、少し持つていかれてしまうということでしょうか。他県では機械を大量に盗まれて困っている話もあります。

●●委員 散歩している人で、レジ袋の中に野菜が入っているから、すぐ分かります。怪しいなとは思いますが、盗んでいるところは見えていません。

●●委員 組織的に盗むのは完全な犯罪ですし、もう警察にお任せするしかないかと思いますが、少し持つていってしまう人は、公園とかで花を折って持つて帰ってしまうのと同じ感覚で、人が商売のためにビジネスとして作っているという感覚が希薄なのかと思います。人の農地に勝手に入っても平気というモラルが欠如した人もいます。数年前ですが、川崎市では、グッドマナーグッドファームグッドカワサキというキャンペーンをやって、冊子を作り、猫のキャラクターが色々なことを言うポスターや絵本のようなものがありました。ホームページにも載っていますが、その中の一つとして「心がやまいと美味しくないよ」と猫が言っているポスターがあって、非常に分かりやすいです。こんな活動をされている事例もあるので参考までにご報告させていただきます。

●●委員 確かに泥棒の件は、他市でも増えていて問題になっていると聞きます。野に咲く花を折って持つていってしまうこととは違う話ですし、例えば注

意喚起の看板等、設置するなど検討していただければと思います。

事務局 J Aとも協力しながら、検討していきたいと思います。

会長 以上をもちまして、第5期第2回農業振興協議会を閉会いたします。
ご協力ありがとうございました。